

平成29年度 市民意識調査結果について

企画部企画調整課

本市の現状やまちづくりへの取り組みに対する評価や満足度、特に重要と感じる施策や課題等について、市民意識の動向と多様なニーズを統計的に把握し、その結果を、第2次総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理や今後のまちづくりにあたっての基礎資料とするため、昨年度に引き続き、下記のとおり「市民意識調査」を実施し、その結果をとりまとめました。766人の方から回答をいただき、回答率は38.3%となっています。

記

- 1 調査地域** 伊勢崎市全域
- 2 調査対象者** 伊勢崎市に在住する満20歳以上の人
- 3 サンプル数** 2,000人
- 4 抽出方法** 住民基本台帳から無作為抽出
- 5 実施方法** 調査票を郵送し、回答のうえ同封の返信用封筒にて返送
- 6 調査期間** 平成29年7月6日（木）から7月25日（火）まで
- 7 調査項目** 第2次伊勢崎市総合計画の体系に基づく各施策についての満足度・重要度を把握するための項目のほか、伊勢崎市の住みよさについてなどの項目
- 8 公 開** 報告書は企画調整課、市民情報コーナー（市役所・各支所）、各図書館で閲覧できます。市ホームページでも公開しています。



平成29年度 市民意識調査 結果概要

1 第2次伊勢崎市総合計画に関する項目

○総合計画の体系に基づく各施策についての満足度・重要度

満足度が高かった施策（26ページ）

- 1位 安定した水道水の供給
- 2位 消防・救急体制の充実
- 3位 健康づくりと疾病予防の推進

昨年度順位4位の「消防・救急体制の充実」が、本年度は2位という結果になりました。

重要度が高かった施策（27ページ）

- 1位 地域医療体制の充実
- 2位 防犯対策の強化
- 3位 災害に強いまちづくり

昨年度順位4位の「防犯対策の強化」が本年度は2位、昨年度順位5位の「災害に強いまちづくり」が本年度は3位という結果になりました。

満足度が低く、重要度が高かった施策（31ページ）

- ・ 防犯対策の強化
- ・ 災害に強いまちづくり
- ・ 医療・年金制度の円滑な運営
- ・ 安定的な財政運営の推進
- ・ 危機管理体制の充実
- ・ 交通安全対策の推進
- ・ 高齢者福祉の充実

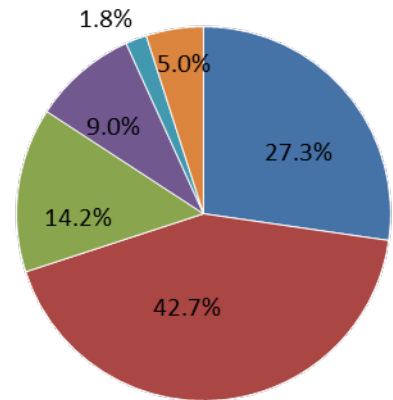
※重要度が高いにもかかわらず満足度が低いため、満足度を向上させられるよう、最優先で改善すべき重点改善施策は、12施策ありますが、上記には、特に重要度が高い順に7施策を記載いたしました。

2 現在の伊勢崎市に関する項目

【設問】あなたは、今住んでいる伊勢崎市の住みよさについて、どのように感じていますか。（18ページ）

【回答結果】

「どちらかといえば住みよい」を含め「住みよい」と回答した人は536人(70.0%)、「どちらともいえない」と回答した人は109人(14.2%)、「どちらかといえば住みにくい」を含め「住みにくい」と回答した人は83人(10.8%)、「無回答」が38人(5.0%)となり、多くの人々が「どちらかといえば住みよい」を含め「住みよい」と回答した。



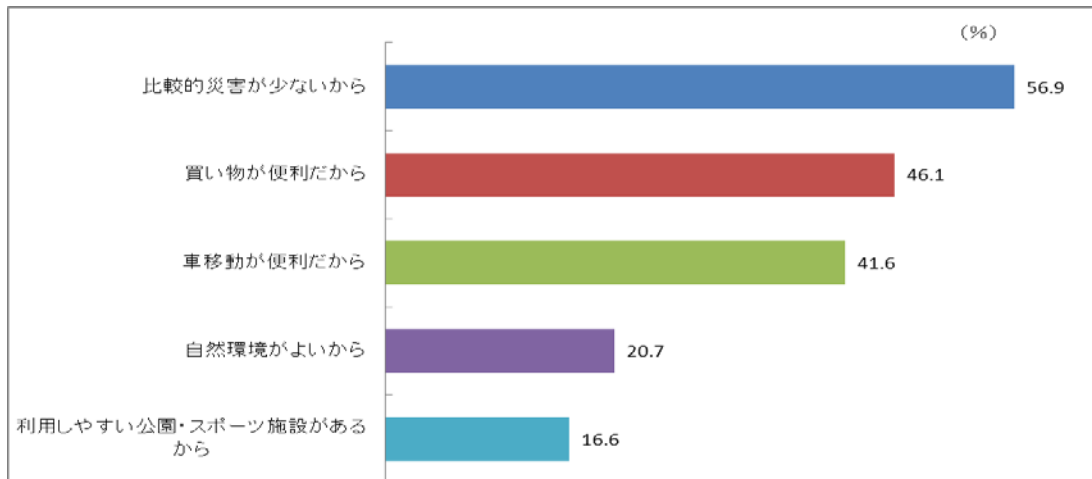
■ 住みよい
■ どちらかといえば住みよい
■ どちらともいえない
■ どちらかといえば住みにくい
■ 住みにくい
■ 無回答

	回答数	割合
住みよい	209	27.3
どちらかといえば住みよい	327	42.7
どちらともいえない	109	14.2
どちらかといえば住みにくい	69	9
住みにくい	14	1.8
無回答	38	5
計	766	100

【設問】「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」を選んだ理由（20ページ）

【回答結果】

「比較的災害が少ないから」と回答した人が最も多く、305人(56.9%)となっている。以下、「買い物が便利だから」が247人(46.1%)、「車移動が便利だから」が223人(41.6%)と続いている。



◎調査結果は今後の市政運営・各種計画の進行管理に利用

調査結果を踏まえて、市政運営の基本となる総合計画及び総合戦略の進行管理、業務の改善などを進めていきます。

今後も市政に対する市民の皆さんの意識や意見を把握し、市民と行政が協働するまちづくりを推進します。